


第28号
2012年1月13日
尾張旭市立東中学校
この通信は、2年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。
<http://www.owariasahi.jp/higashi-j>
編集：深谷勇子

2学期が始まりました。
『2年生、変わる飛躍を！』



新しい年が始まりました。
冬休みの出来事や新年の抱負を先生たちに語ってもらいました。 第二弾

○新年明けましておめでとうございます。今年の干支は「竜」ですね。竜急流の「竜門」を魚が登りきると竜になるという「登竜門」の伝承がある、竜です。一人一人が部活に勉強に悩むこともあった壁を乗り越えてきた2学期、あとは達成に向かって登っていくのみです。

締めくくりの3学期、私自身も気持ち新たに一瞬一瞬を大事にして頑張っていこうと思います。本年もよろしくお願ひします。



○新年あけましておめでとうござい
ます。

皆さんはどんな冬休みを過ごしましたか。

私は友人と広島の世界文化遺産である厳島神社でカウ

ントダウンをしました。

素敵な場所、美味しい物、親友と過ごす時間は幸せで

した。今年は海外の世界遺産を巡りたいなど計画中。

後から「こうすればよかった」、「やればよかったな」と後悔することのないよう

に日々過ごしたいです。皆さんも「今、この時」を大切に色んな場所へ行き、色

んな事に挑戦して下さい。きっと大きく成長し、視野

が広がると思います。



○新しい年になりましたね。勉強、部活動、学校行事・学校生活にと最後の一年(といっても部活動のほうは実質半年)を悔いのないように過ごしてほしいと思いま

す。そのために必要なことは、備えを十分しておく

こと。試験で大会で結果を残すためにはそこまでの備

えが大切になります。その場しのぎでやっていること

なんて大して身についた力になりません。気合を入れ

てやっていきましよう。今読んでいる本の一節を

みなさんに贈ります。―その日その日の愉(たの)し

みを優先するのではなく、先を見据(す)えることが

必要だ。周囲の様子、傾向、失敗を自分に置き換えて、

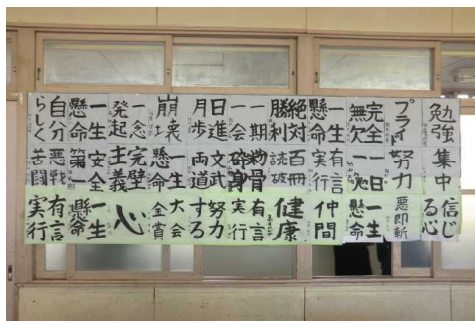
自分の未来を想像することも必要だと思う。「自分だけ

は大丈夫」。そこに明確な根拠は何もない。―『心を整

える。』(長谷部 誠)

水野千広

2 D の 書 き 初 め



田村理江子

○あけましておめでとうございませう。4月からはいよいよ最高学年ですね。3年生でよいスタートをきるために、3月までをどう過ごすかが重要です。学校生活のすべてを大切に、己を磨いていきましよう。私自身も、努力する者を全力で支える1年でありたいと思います。

○新年あけましておめでとうございます。

みなさんは冬休みはどう過ごしていましたか？私は江ノ島神社に行ったり、箱根駅伝を見に行ったりしていました。テレビで見た人もいるかもしれませんが、テレビで見ると実際に見るのではこんなにも迫力が違うのかと驚きました。

選手が目の前を通過した瞬間、口からでた言葉は「はやっ」という一言でした。あのスピードで約20kmを走る選手たちを見ていたら「為せば成る」という言葉が浮かんで来ました。（やればできる！という意味）今年はこの言葉をキャッチフレーズに頑張ってきたと思います。みなさんも残り少ない部活動でいい結果が残せるように日々の練習を「為せば成る」の精神で頑張ってください。

梅村知恵

○あけましておめでとうございます。わたしの今年の目標は、たくさん絵を描くことです。今年の冬休みは展覧会に出す絵の下描きを制作してしました。今年も去年よりもっと大きな作品を描こうと思いい描き始めたのですが、なかなか思い通りに仕上がらず、失敗ばかり。絵を描きながら年を越してしまいました。3学期をむかえ、2年生もあとわずかですね。皆さんの目標は何ですか？くじけることがあっても諦めずに決めた目標に向かって進んでいって下さい！

山田あい



月美先生の「登竜門」から、今年の干支である「辰（竜）」にまつわる言葉を考えて見ました。

★画竜点睛 「がりようてんせい」

最後に肝心な個所に手を加えて、物事を完成させること

★竜頭蛇尾 （りゅうとうだび）

頭は竜で尾は蛇、ということから、始めは勢いが盛んであるが、終わりは振るわないこと。

↓やりの始めは頑張つてやっただけれど、日が経つにつれ、だんだんいい加減になつて最後までできなかつたということありますね。スタートを切ることも大事ですが、今年も最後まできちんとできる、決して「竜頭蛇尾」には終わらせたくないですね。

★蛟竜雲雨を得ば池中の物にあらじや

「こうりゆううんうをえばちちゅうのものにあらず」

池に潜む龍がやがて天に昇るように、いつかは大人物になる素質を持つていること。油断ならない人物。

↓東中2年生の中に「いつかは大物になる、油断ならない人物が・・・」

★竜の髭を蟻がねらう

（りゅうのひげをありがねらう）

弱い者が身のほども考えず、無鉄砲な勇気をふるつて、強い者に立ち向かうこと。

★竜の髭を撫で虎の尾を踏む

（りゅうのひげをなでとらのおをふむ）

非常な危険を冒すことのとえ。

↓竜のひげをねらうアリにはなりたくないですね。

でも、人生の中で、時には勇気をふるって、「竜のひげをなで虎の尾を踏む」ことも必要かもしれませんね。

★竜馬の躓き

（りゅうめのつまずき）

ずば抜けて優れた馬でも時には、つまずくことがある

るもので、どんな賢い人も失敗があるというたとえ。

↓失敗はだれにでもあるんです。失敗を次に生かすか、失敗のまま終わるかは、「我慢する力」「あきらめない心」「目標を達成したいという意思」の違いでしょうね。

まだまだあります。

★雲は竜に従い虎は風に従う

性格氣質を等しくし、類を同じくするものは互いに引き合うこと。

★虎口を逃れて竜穴に入る

（こうをのがれてりゅうけつにいる）

一難を逃れて、さらに他の難儀にあることのとえ。最後に、

★竜の雲を得たるがごとし

（りゅうのくもをえたるがごとし）

勢いに乗ずることをいう。

↓今年も是非、「竜が雲を得たるがごとし」で行きたいですね。

